

# えひめのくらし

## — 生計費モニター通信 —

NO.162

2009年8月1日発行

6月の集計結果は、実収入が前年に比べて2万円弱の減少、合わせるかのように実支出も2万円強減少しています。収入面での特徴は、賞与（夫）が5万円ほど前年より下回っていることです。みなさんからの声からも厳しさが伝わってきます。

人件費削減のため、私のパート収入は多かった月の半分以下となり、主人のボーナスも月給以下に…。不況の厳しさを肌で感じます。何かと批判された定額給付金ですが、庶民には心から有難いものでした。もうすぐ、財布の緩みがちな夏休み、気を引き締めて節約できるところは節約し、お金は使わなくても楽しい思い出を残したいなあ…。(41歳)

厚生労働省が3日発表した6月の毎月勤労統計調査（速報、従業員5人以上の事業所）によると、すべての給与をあわせた現金給与総額（1人平均）は前年同月比7.1%減の43万620円と13ヶ月連続で減少し、減少率は1990年以降で最大となりました。夏のボーナスなど特別に支払われた給与が14.5%減の16万7,044円と大きく減少したのが響いたようです。ボーナス支給総額は年間で決めているところが多く世界同時不況に陥った昨冬のボーナスはさほど大きな影響をうけなくても、今年のボーナスは不況の影響を大きく受けるものとなったようです。

ちなみに前述の声にあった定額給付金ですが、コープえひめのモニターさんにアンケートをお願いしたところ、「意識的に何かに使った」「日常生活費や給付金がなくても買ったであろうものに使った」「貯蓄している」が概ね1/3ずつという結果でした。一定の消費の押し上げ効果はあったのかもしれませんが、また、エコカー減税やエコポイント制度の導入などの経済対策の効果もあって、4～6月期の国内総生産（GDP）の成長率が年率換算で4.1%増と5期ぶりにプラスに転じる見通しなど、景気は上向きつつあるともいわれています。しかし、消費の前倒しとの見方もあり、家計収入の減少や雇用不安が続いている状況をみると今後も景気動向は予断を許さないように思えます。

# 6 がつ の データ

(2009年6月分)

## 世帯の状況

		2008年 6月	2009年 5月	2009年 6月
調査対象数(世帯)		195	201	185
世帯主年齢(歳)		45.4	45.8	46.9
平均家族数(人)		3.8	3.8	3.8
世帯主 職種	公務員	12.3	14.3	11.9
	会社員	72.3	68.6	65.9
	自営業等	6.7	9.5	13.0
	無職	8.7	7.6	9.2
世帯主 年齢	20~29歳	1.0	0.5	0.5
	30~39歳	31.8	30.0	27.0
	40~49歳	40.0	41.9	40.0
	50~59歳	15.9	15.7	18.4
	60歳以上	11.3	11.9	14.1

## 実支出

	2008年 6月	2009年 5月	2009年 6月
合計	511,047	464,393	489,742
消費支出	319,708	330,136	320,141
食費	55,553	58,335	54,804
住居費(家賃・ローン)	55,528	39,074	44,478
住居費(その他)	14,999	17,413	18,119
水・光熱費	15,757	16,122	15,795
被服費	12,758	10,995	12,057
保健医療費	6,990	9,157	8,345
美容衛生費	9,074	8,765	9,053
交際費	15,469	15,544	12,934
交通費	3,451	4,619	4,249
通信費	14,550	15,065	16,660
教育費	38,633	54,809	48,502
教養娯楽費	14,559	18,654	14,557
職業・主婦費	31,902	27,823	32,048
自動車関係費	26,890	24,803	24,537
その他	3,593	8,958	4,003
非消費支出	191,339	134,257	169,600
税金	62,089	42,972	56,023
社会保険料	69,941	43,369	63,154
私的保険料	49,100	41,208	43,374
その他非消費支出	10,209	6,708	7,049

## 実収入

合計	668,391	444,068	649,614
給料(夫)	301,377	309,848	298,621
(妻)	38,074	36,621	43,761
賞与(夫)	187,221	645	135,885
(妻)	18,793	165	18,694
公的年金(夫)	25,694	3,290	33,437
(妻)	15,993	1,132	17,986
自家営業	16,429	12,457	16,086
家賃・地代収入	5,908	6,962	7,944
パート・アルバイト収入(夫)	1,295	841	1,521
(妻)	22,887	22,057	24,880
同居家族からの収入	4,991	2,853	3,600
私的年金(夫)	5,372	3,551	14,247
(妻)	830	619	2,417
その他の収入	23,527	43,027	30,536

## 別掲

積立・定期預貯金	50,137	25,424	40,761
----------	--------	--------	--------

## 再掲

住宅ローン返済額	41,224	30,215	31,176
住宅以外借入金返済	4,648	4,350	5,145

## 特別収入

保険満期(2件)	2,005,310
----------	-----------

## 特別支出

住宅購入・リフォーム(2件)	6,008,000
車購入(2件)	4,515,000
相続税	1,193,000

# 6月のおたよりから

<ボーナスなど収入減の声です>

★今回、ボーナスカットで苦しいです。ローン組んでボーナス払いにしていたのに今回からカットで計画が無駄です。保険も見直したいと考えている今日この頃です。また、子どもの夏の塾講習などで出費も増えそう。(33歳)

★収入の少ない月に、ちょうど学費や車関係費などかかってしまい、大赤字となっています。なぜか電話代が膨大になっており、家族全員の協力でやっていかないと、とてもムリ！と実感する月でした。来月も収入少の月のため、用心！用心！貯金も底つきそう…。(42歳)

★毎月の赤字を賞与でカバーする生活です。前期より賞与の減額が生活に大きく影響することが心配です。(45歳)

★今月は保険の年払いが入り、大幅赤字。ボーナスはいつもより1ヶ月遅くなるので、厳しい現実です。(46歳)

★今月はボーナス支給がありました。冬のボーナスよりは下がっていました。今は仕方ないと思っているので、もらえるだけ良いと思って、ボーナスには頼らないでいいようにしていこうと思います。今月はスペインに家族旅行にも行きました。旅費は旅行会社に支払済みだったので、かかった費用は食事代や交通費、お土産代などのみですが、トータル6万円ほどでおさえました。

小さい子どもも連れて行ったので大変ではありましたが、豚インフルエンザにもかからず、病気、ケガもなく帰国できたので安心しました。楽しんだ分、家計を締めつけては…と思っています。(29歳)

★残業が少なかったため、収入が減少してしまいました。そのため、今月はできるだけ車の利用を避け、行動は自転車です。買物は週2回と決め、事前に必要なものをメモし、それ以外は購入しないように心がけました。しかし、自動車税や教育費が重くのしかかることに…。そろそろ「バーゲン」のシーズン。衝動買いをしないよう、たんすと相談しながらたまにはショッピングを楽しみたいものです。早いもので家計簿をつけ始めて半年が過ぎました。最近は習慣になり楽しみながらつけるようになりました。(38歳)

★楽しみにしていたボーナスですが、やはりかなり下がっていました。子どもの学資保険と車検代でボーナスは飛んでいきそうです。子どもがやる気になり、スイミングを始め、教育費も増えました。その分、食費は頑張って抑えました。まとめ買いしてこまめに冷凍したり、子どものいないときに買物に行ったり、子どものお菓子を買わなくていい分、これだけで節約になりました。(36歳)

<前回、「どうにか工夫して食費を抑えたいのだが、誰か教えてください。」との声がありました。上記、こんなアイデアを提供してくれました。>

<以下、通常の声です。>